



2026 年 7 月 28 日

株式会社あいち銀行

環境省「令和 8 年度 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」の採択について

株式会社あいち銀行（代表取締役頭取 鈴木 武裕）は、株式会社福井銀行、株式会社アイシン、愛三工業株式会社、福井鋳螺株式会社、セレンディップ・ホールディングス株式会社との共同申請で、環境省の支援事業である「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業（公募枠 3：取引先大企業とのエンゲージメント協業）」に採択されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

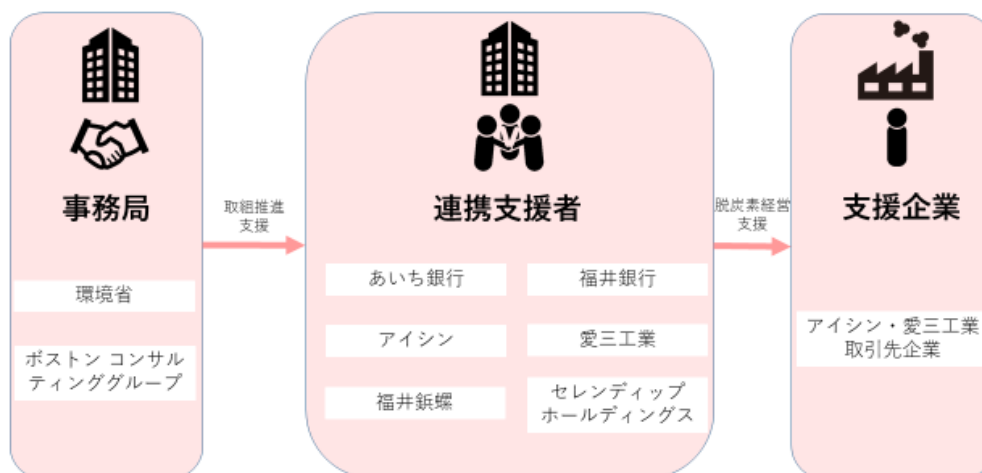
当行は本事業を通じ、愛知県の基幹産業である自動車産業のサプライチェーンに属する対象企業へ、原価低減・生産性向上につながる脱炭素経営の伴走支援を主導してまいります。

記

1. 事業概要

本事業は、Tier2 以降の中堅・中小サプライヤーを主な対象として、当行と福井銀行が連携の中核を担い、製造業・専門機関と一体となって「原価低減（歩留まり改善等の合理化）」と「材料グリーン化（GX 素材導入）」を同時に実現するモデルを構築していきます。

事業スキーム図



具体的には、以下の3つの取組みを柱として進めてまいります。

	取組み	具体的な内容
①	サプライヤーへの「実務代行型」伴走支援の仕組み構築	リソース不足の中堅・中小サプライヤーに対し、大企業（製造業）がノウハウ・技術を直接提供する実務代行型の伴走支援モデルを構築します。 従来の「要請型」から「寄り添い型」へと支援スタイルを転換し、地域金融機関がその橋渡し役を担うことで、中堅・中小企業の体質強化と生産性向上を目指します。
②	「大企業×地域金融機関」連携による新しい支援アプローチの開発	大企業が持つ仕入先支援ノウハウ・現場知見・実践知を結集し、省エネ・脱炭素を起点とした段階的な支援ツールの開発を目指します。
③	PMI 支援先等を含むトリアル・横展開	上記①②で構築した支援モデルを、M&A 後の経営統合プロセス（PMI）支援先にも展開します。 「脱炭素」と「コスト削減」の両立を PMI 支援の新たな切り口として活用することで、地域金融機関にとって魅力的な新しい M&A 支援モデルの確立を目指します。

2. 取組背景

2050 年カーボンニュートラルに向けて中小企業の脱炭素経営の促進は重要な課題である一方、地域の中小企業全体を単独で支援することは困難であり、地域金融機関等が連携した「地域ぐるみ」での支援体制が有効とされています。

また、中小企業における脱炭素経営の取組みは今後のサプライチェーンの維持や受注機会の確保に直結する一方で、人手やノウハウの不足により何から着手すべきか、どのような取組みを行うべきか判断に迷い、なかなか進んでいないという声も多く寄せられます。

こうした課題を踏まえ、当行は、地域金融機関として各関係者をつなぎ、地域ぐるみの支援体制構築に貢献してまいります。

以 上